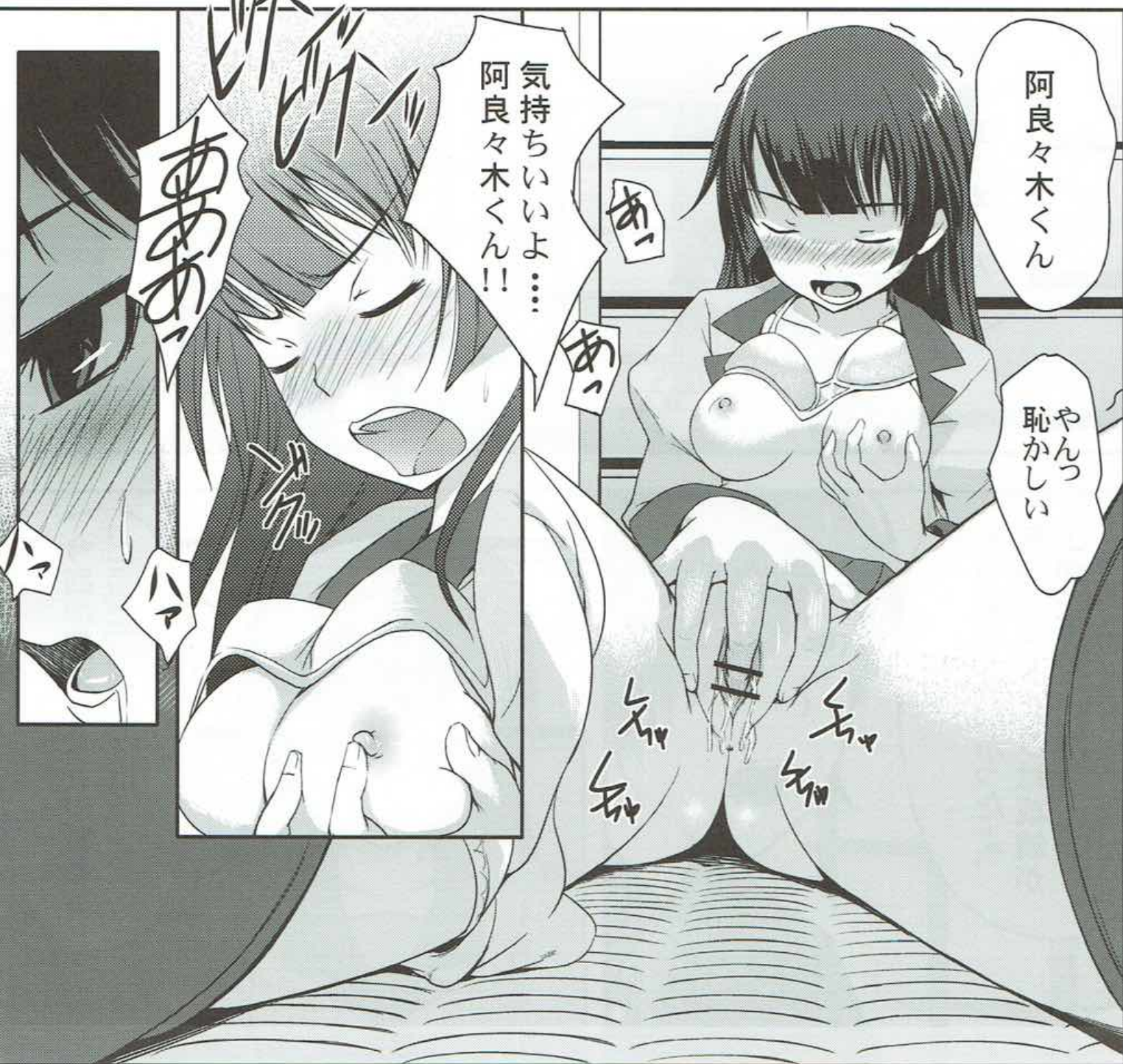


貳仟玖年拾貳月
青点ノ本

ヒタギニトリ

成人向ケ
ADULT ONLY





期末テストも終わり
もうすぐ冬休みに
入るそんな年末の
ある日の夜

俺はいつものように
戦場ヶ原の家で
勉強をしている。

うん

阿良々木くん

今回の期末テストの結果は
どうだったかしら？

まあ、悪くはなかったよ。
前のテストよりは成績が
上がっていたね。



私がつきつきりりで
教えているのだから
成績が上がるのは
当然ですが、進路は
どうするのかしら？



一応大学に進学を
考えてる。まあ、

無理かもしれないけど、
とりあえず戦場ヶ原と
同じ大学を受けて
みようと思う。



とりあえず……？

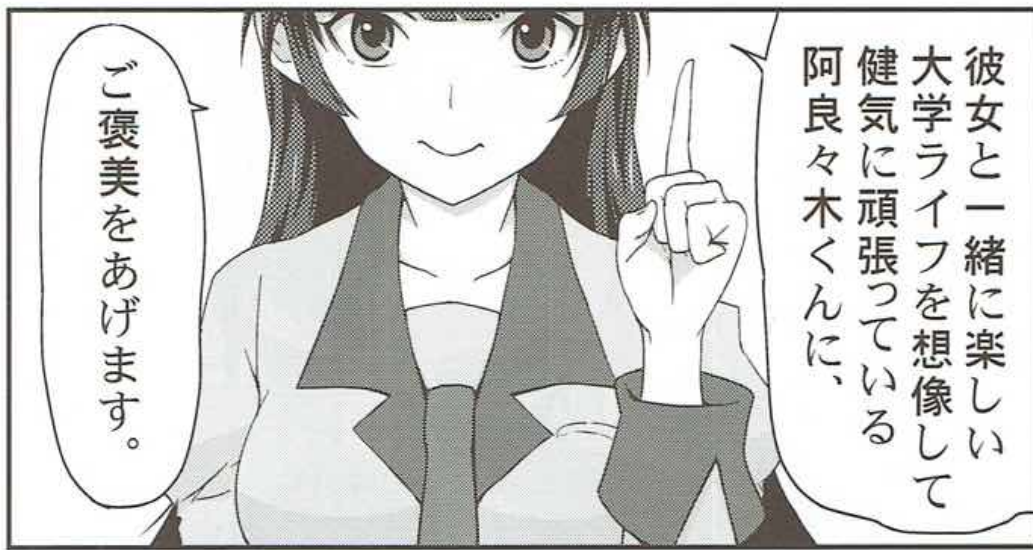
それほど行きたいわけでも
ないけれど、私と同じ大学を
受けてみるわけね……

全力で頑張ります
僕にはこの大学以外に
考えられないです



うれしいこと
言ってくれるじゃない

あらそう……



ご褒美をあげます。

彼女と一緒に楽しい
大学ライフを想像して
健気に頑張っている
阿良々木くん、



阿良々木くん



ただ、七面鳥を
買うお金がないので
それは遠慮して欲しいわ

もうすぐクリスマスなので、
裸エプロン姿で七面鳥を料理する
というのはいかが？



なんだか怖い……
すごく怖いです



阿良々木くんは
どんなご褒美が
欲しいかしら？

それとも
自宅でいつでも
私の裸を
拝めるように

ビデオカメラで
撮影したDVDをプレゼントして
毎日鑑賞してもらおうかしら

さすがにそれは裏DVD
として売られてしまうと
困るからやめておきましょう。

売るわけないだろ！
断じて売りません！

地球が美しいのは、
こうして宇宙から
見ることが
できるからだ。
地上にいる者たちは、
真の美しさは
理解できない……

はい？

つまり私の美しさも
他人が見ること、
真の美しさが
理解できるという
ことかしら。

突然、仮面を被った
貴族のセリフを
引用してきて、
なんとなく
合っているような
解説をしているが、
全然違っているし！



しかもいきなり話の
スケールが宇宙まで飛び
越えちゃっているけど
俺たちは実際に宇宙すら
行ったことがないし、
大好きなアニメだから
とって簡単にセリフを
パクってくるのは
どうかと思うんですが！



理解できた
かしら？



それでは



これで





ついてるんですが

パンツにシミが



.....

シ〜



オナニーをしていてその行為の途中で阿良々木くんが思ったより早く来てしまつて

慌ててパンツを穿いたらシミがついてしまったことに気づいたようね。

もちろん済ませたわ



阿良々木くんが家に来る前に



そんな事に気づくなんてどれだけ俺は性に敏感なんだ！部屋中にイヤラシイ匂いが充満してて、その匂いを俺が嗅ぎつけたとでもいうのか！

たとえ気がついたとしても俺は顔にうれしいという表情を出した覚えもないが興奮してきたっ！

阿良々木くんの想像力では私の体なんて記号の組み合わせのような体とへのへのもへじのような顔になっていて



擬音によるあえぎ声だけが妙にリアルに描かれてるような陳腐なものだと容易に想像できるわね。

余計なお世話だ

実際の
私のオナニーは

グッ

もちろん毎日おかずに
されている阿良々木くんが
私の体中を舐めまわしながら、
恥かしい言葉で私の耳を
愛撫されながら私の美しい体が
あられもないポーズで
阿良々木くんの手が~~私~~を揉み
~~私~~の中に阿良々木くんの
~~私~~が入れられしまい、
ついには……

イツちやいます



そうですか…

どうやらアピールを
してやるらしい…



ご褒美として
阿良々木くんの
彼女の

メンヘラ処女の
おっぱいを揉ませて
あげます。



とりあえず



でも、大丈夫なのか？
最低なゲス野郎の
トラウマが
あるんだろ？

そう

だから少しずつ
そのトラウマを

消して
ください



リードしていた
はずの私が……



わかった

頑張ろうな



いつのまにか……

ゆっくり触って
みるよ……。

……スルリ

う、うん……

リードされている



いいよ……
気にしないで

忘れてた……

阿良々木くんの
優しいところが
好きだったんだ。

いつかできるさ
でも、今は……

私が困っている
ときには……

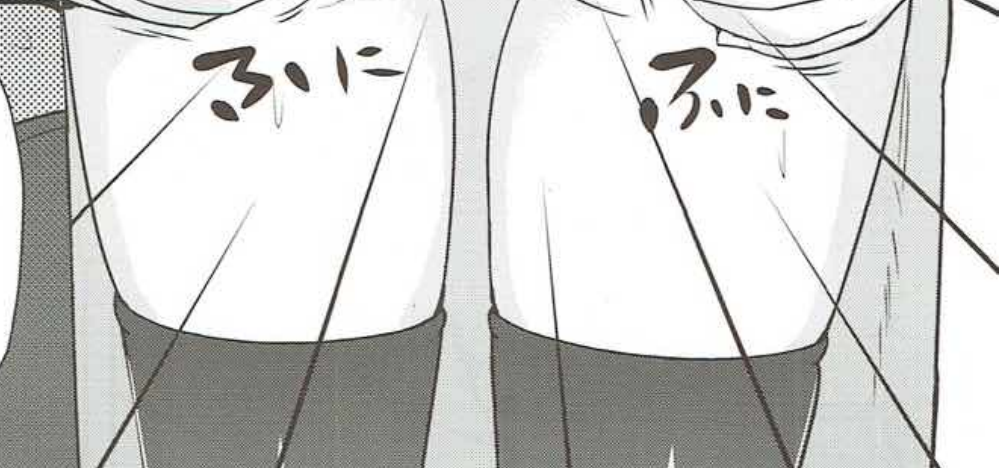
そして……

これだけだね

いつだつて助けに
駆けつけてくれる
王子様みたいなおとこ

可愛いところ

優しいところ







あつ…なんか…
変になって…



俺のも…
お願い…頼む！

頭の中が…
白く…イクッ！



うはあ

なんかヌルつとしてて、
すごいイヤラシイ...



唾えると
うれしいのかな...



ハード



ぶはっ

これが私の中に



もうダメッ

出ッ



はい

ずるずる...

入ってくる...

ズンズンズン

挿入れます

プルプル



ずるずる...

ぬる

か、硬い...

暖かいのが当たってる

びびび...



んっ



奥まで

.....ぶるぶる

おっ...

にゅるにゅる



私もがんばります

もつと
もつと
ひたぎさんの
中に入るよお〜!!

もつと

阿良々木くんに
好かれるように
……

はい!



ただ女か?

あ……

……



あぁあん♡

入ってるうー!

すごい...

なかにっ

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

あぁん♡

いやあ

体が勝手に
動くよお



イ
イ
イ
キ
キ
キ
そ
そ
そ
う
う
う
!!!



な...何度も...
何度も...

出たり...
入ったりしてる

激しすぎて息ができ...

どんどん激しく...ッ!



ああああん

ズッ
グッ

次は :



ハッ

ズッ



グッ

グッ

グッ

ズッ

ズッ



ズッ

ごめん

中に出しちゃった

下からもどろろ

くう

あつ!!

入る!

あつ

ズグ
ズグ

気にしてない...

あ♡

あ♡

かお♡

入れただけで
いきそう...

ぬちゅ
ぬちゅ

あ♡
ズグ
ズグ

体が...
キゅッ...って!



奥まで入っ・・・あつ
入ってる・・・!

気持ちいいっ!

あゝ

ぬちゅ

ぬちゅ

ズン
ズン



アッ

あゝ

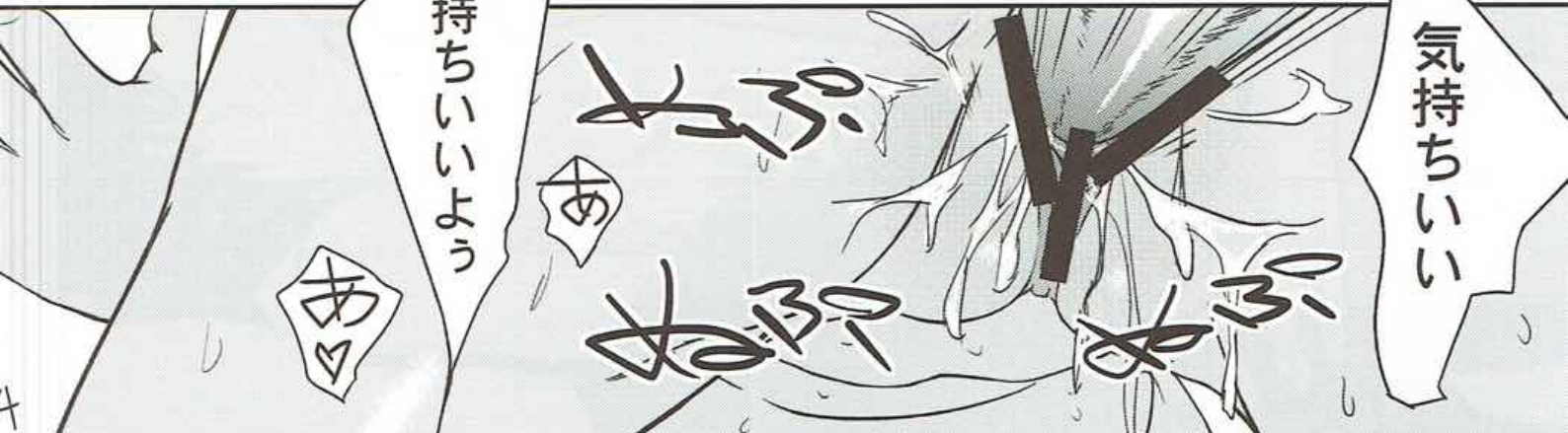
あゝ

アッ

あゝ

アッ

気持ちいいよう



気持ちいい

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

あゝ

あゝ



足が絡んで

締め付けて
すげえ気持ちいい

今で……
何回目だっけ？

えっと……

もう……
わかりません

また
イキそう！

いいわよ……
どんどん内に出して

精子……くらさい

うおおおおっ

できそうに
ありません

あら

あら

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ



ヒタギニミトレ

発効日:2009/12/31

発行者:青点(サークル:青い点)

URL:<http://aotenmultiverse.com/>

連絡先:aoten0@gmail.com

印刷:ねこのしっぽ

18歳未満閲覧禁止

無断転載を硬くお断りいたします

